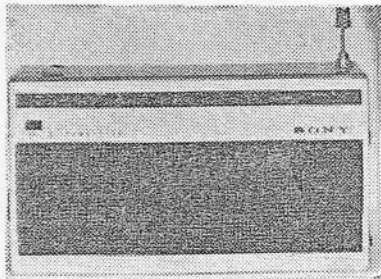


# 国内新製品紹介

## ソニー 8石2バンド・ラジオ “TR-820”

局発部をセパレート型にして感度と安定度を上げているポータブル・ラジオで、受信周波数は535~1605 kc と 3.9~12 Mc である。アンテナは自蔵のバー・アンテナと10段引伸ばし(76 cm)のロッド・アンテナを使っている。出力は最大 280 mW。無歪 180 mW。スピーカーは 6.5×10 cm の長円形。消費電流は無信号時に 10 mA、無歪最大時に 92 mA。トーン・スイッチは高・低2段切換、ファイン・チューニングつき、イヤホン2個つきである。電源は単二、外形寸法は 103×190×45 mm で、重量は 600 g である。現金正価は ¥9,800。

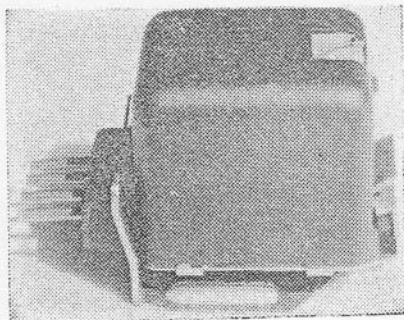


(東京都品川区北品川)

ソニー K.K.

## マイクロ精機のカートリッジ “M-1007”

ムービング・マグネット型のステレオ・カートリッジで、従来の金属マグネットに比べてはるかに軽いフェライト・マグネットを発電体に使用し、さらに質量軽減とアーマチュアとの結合を容易にするためフェライト・マグネットを円筒型にしている。アーマチュアには外径 0.5 φ、肉厚 0.04 mm のきわめて小さな軽合金パイプを使用している。主な規格は周波数範囲は 20~20,000 c/s、チャンネル・セパレーション: 22 dB (1000 c/s)、出力電圧: 5 mV (5 cm/s 5 mV) 出力偏差: ±1 dB、負荷抵抗: 100kΩ、



針圧: 1.5~3 g。スタイラスは 0.7ミル (ダイヤ)、現金正価は ¥6,000 である。  
(東京都杉並区高円寺7の925)

マイクロ精機 K.K.

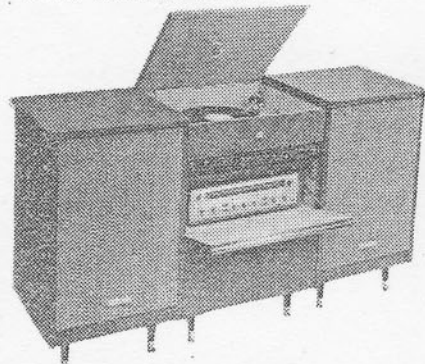
## トリオの新製品4種

### ●ステレオ・コンポーネント “ST-810”

出力 14W×2 というステレオ・アンプに、AM の BC バンドが 2 チャンネルで、SW 3.8~10 Mc、FM 80~108 Mc のチューナーを備えた豪華なコンソール型である。使用真空管は終段 6BM8×4 を含む 19 球+1 石である。特殊回路としては FM の AFC、ラウドネス・コントロール、ランブル・フィルター、イコライザー・アンプの完全直流点火、ステレオ・フォーン・ジャック、FM マルチ用端子などである。この部分の外形寸法は幅 450×高さ 140×奥行 355 mm である。

プレーヤーは、コンデンサー進相型の4極インダクション・モーターを使った4スピードのものである。ターンテーブルは 30 cm、S/N は 32 dB 以上、ワウ 0.25% 以下である。カートリッジはダイヤ針つきムービング・マグネット型で、出力電圧は 5 mV (1000 c/s, 50 cm/秒)、周波数特性は 20~21,000 c/s (±2 dB)、針圧は 3~4 g である。インピーダンスは 1.8 kΩ (1000 c/s) チャンネル・セパレーションは 20 dB 以上 (1000 c/s)。アームは 30 cm 完全バランス型パイプ・アームで、4 端子プラグイン式、エレベーション機構つきである。

SP システムは 20 cm ウーファーに、7.5 cm スコーカー、ホーン型トゥイーターの3つを組合わせたもので、再生周波数は 45~17000 c/s、クロスオーバーは 1,250 c/s、5,000 c/s、インピーダンスは 16Ω、最大入力は 10W となっている。現金正価は ¥123,600。



### ●FM つき 3 バンド・ホームラジオ “AF-252”

普通のラジオ・タイプにリミッター回路がついているのは、これがわが国ではじめてである。受信周波数帯は FM: 76~90 Mc、MW: 535

1605 kc、SW: 3.5~10 Mc、使用真空管は 17 EW8、12BE6、12BA6×3、12AV5、30A5、ダイオード3個である。実用感度は FM が 3 μV (84 Mc にて S/N 20 dB に要する入力) イメージ比は FM: 42 dB 以上 (84 Mc)、AM: 40 dB (以上)、(1 Mc)、出力は最大 1.5 W、外形寸法は幅 320×高さ 172×奥行 145 (mm) で、重量は 2.3 kg である。現金正価は ¥9,950



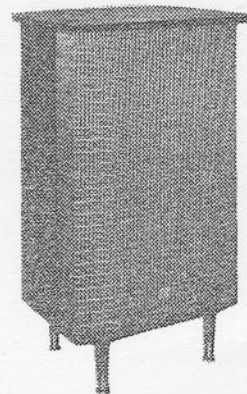
### ●144 Mc 帯クリスタル・コンバーター “CC-2”



195×奥行143 (mm) で重量は 2.2 kg である。現金正価は ¥7,900

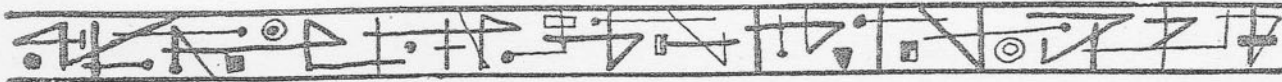
手持ちの受信機 (7~9Mc) に接続するだけで 144 Mc バンド (144~146Mc) を受信できる。IF 出力周波数は 7~9Mc、局発振周波数は 137 Mc、アンテナ入力は 52 Ω または 75 Ω 不平衡型である。使用真空管は 6AQ8×2 6AU6 に整流用ダイオードである。外形寸法は幅90×高さ

### ●2 ウエイ SP システム “SC-10”



再生周波数帯は 40~17000 c/s、クロスオーバーは 1250 c/s、インピーダンスは 16 Ω、最大入

家庭用として手頃な大きさということをおもったスピーカーシステムで、25cm ウーファーに 7.5 cm のトゥイーターを組み合わせてバスレフ型のキャビネットに入れたものである。そして高音専用のレベル・コントロールもついていて部屋の状態に合わせて音響状



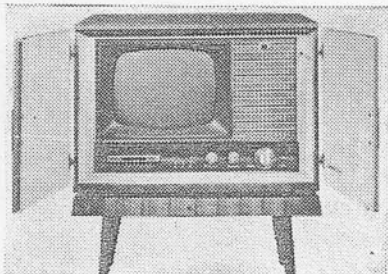
力は 15 W である。外形寸法は幅 460×高さ 750×奥行 328 (mm) で、重量は 12 kg である。

(大田区調布千鳥町 74 Tel: 751-7121)

トリオ K.K.

### ビクターの 17 型カラー TV

17型カラー受像管を使ったコンソレット・タイプである。操作が簡単のように AFT (自動微同調), ACC (自動彩度調整), AGC (自動利得調節), AFC (水平発振周波数の自動調節) などの各種の自動調整回路がついている。スピーカーは 16 cm 丸型が 2 個使っている。木製のキャビネットに扉がついていて、カラー管前面の保護とともに扉を閉めると電源の切れるドア・スイッチがついている。現金正価は ¥ 250,000。

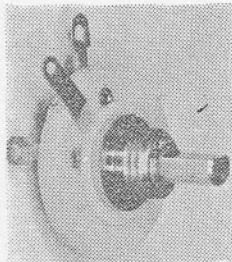


(東京都中央区日本橋本町 4 の 1)

日本ビクター・機器営業所

### ヴァイオレット電機の捲線型

#### 可変抵抗器 “H-16P”



ボリュームの専門メーカー、ヴァイオレット電機より捲線型可変抵抗器 (H-16φ) が発売された。これは測定器、ステレオ・フォンの音量調整、およびテープレコーダー、スピード調整用に作られた

もので、捲線型可変抵抗器の主な規格は外径 16 φ、抵抗値範囲 5Ω~100Ω、抵抗変化特性 B、定格電力 0.5 W。(ただし、使用に応じて抵抗変化特性 A および C が製造可能である)

(東京都中野区新山通 2-18 TEL. 381-8385)

ヴァイオレット電機 KK

### ソノボックスのステレオ・カートリッジ “SX-2”

これは、前の SX-1 型の性能を更新し、球状マグネットによる高出力と二重シールドの画期的技術に成功したもので、6 月 1 日を期して全国一斉に発売の予定である。



主な規格は、出力 6 mV/1000 c/s、周波数範囲 15~22000 c/s、クロストーク -25 dB 以上、負荷抵抗 50~70 kΩ、針圧 1.5~2 g

なお、同社では来る 6 月 22 日午後 6 時より、銀座ガス・ホールにて、この SX-2 型の発表ステレオ・コンサートを開くことになっている。

また、特別講演 “周波数特性の変化と音質について” もあるが、それには下の写真にのらんの最新輸入のランゲンビン+グラフィック・イコライザーによって実験も行われる。



希望者は往復ハガキでソノボックス K.K. 宣伝課へ申し込めばよい。

(東京都渋谷区常盤松町 101 Tel: 401-7481)

ソノボックス K.K.

### QQQ の新製品 3 種

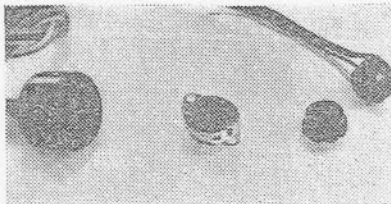
#### ●マイクロ TV 用 B 管ソケット “TV-801”

これは量産向きにカバーをポリエチレン製の嵌込式にしたもので、リードつきとリードなしの 2 種類がある。適合するブラウン管は 140AB4, 230AB4, A14-10W, M6901, PL-625 である。(写真の右端の 2 つ)

#### ●ノバル 10 P ソケット “# 347 Y”

FM チューナーなどで VHF 帯の高周波増幅およびオートゲイン調整用に設計された 10

ピンのミニチュア型双四極管に適合するようにできており、高級フェノールレジンのモールド・ソケットである。適合管は 6C9, 17C9 (写真は中央)。正価は ¥ 40。



#### ●1.5 インチ・ビディコン用ソケット “TV-809”

高解像度用として設計された 1 1/2 インチ・ビディコンに使用するもので、ピン脚を独特の形状とし接触不良の絶無を期している。適合管は 8051。(左端の写真)。

(東京都中央区銀座東 8 の 4 Tel: 541-5710, 0860, 7221)

中央無線 K.K.

### タンゴのステレオ用パワー・トランス 4 種

平田電機製作所からステレオ用パワートランス、PS-280S, ST-220, PS-260, PS-230 の 4 種が発売された。ポリエチレン絶縁機を使用しているため小型でしかも高耐圧であり、B 電圧は最新の Hi-Fi 用出力管にマッチする。PS-280S は特に大電流用として倍電圧整流用であり、小型にするためオリエント・コアを使用し、リーゲージ・フラックス防止用としてショート・リングもついている。規格は左下表のとおり。

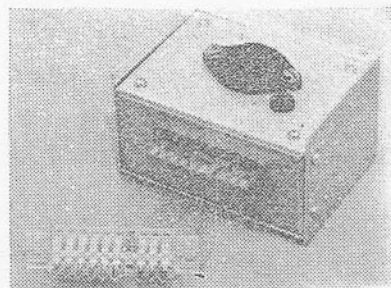


(東京都荒川区尾久町 4-2043 Tel. 891-7726)

平田電機製作所

### 不二音響テレビの新製品 2 種

#### ●ユニット安定化装置 “URPS-30, 1”



型名	2 次 電 圧 ・ 電 流	使用例	価 格
PS-280S	135V (125V 115V 95V 85V) 6.3V 6.3V 30V (15V) 倍電圧整流 DC 280mA 5A 4A DC 0.35A	AM AM FM 付 6BQ5PP ステレオ	3,100
ST-220	280V (250V)×2 6.3V (5V) 6.3V 6.3V 6.3V 6.3V 220mA 3A 2.5A 2.5A 1.2A 1.2A	6BQ5PP ステレオ	2,300
PS-260	210V×2 5V 6.3V 6.3V 6.3V 5.5V 260mA 2A 4A 2A 2A 0.6A	AM AM FM 付 6BM8PP ステレオ	2,150
PS-230	210V×2 5V 6.3V 6.3V 6.3V 5V 5V 230mA 2A 4A 1.5A 1A 0.6A 5.6A	AM AM 付 6BM8PP ステレオ	1,510

PS-208S は、防磁用ショート・リング付、オリエント・コア使用



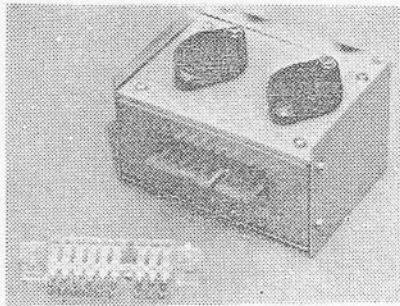
“URPS-30/1” はすでに発売されているトランジスタ・ユニット・アンプ、トランジスタ・パワー・アンプ (UPA-5) などの電源として使用するユニット安定化装置で、リップルが少なく、ツェナー・ダイオードなどの使用により良好な安定度をもっている。本機内には整流素子をブリッジ回路に組んで内蔵しているので、交流電圧を直接供給できる。また接続はプリント・コネクタ・プラグイン式で、小型、軽量である。規格は下記のとおり

- a.  $\left\{ \begin{array}{l} \text{AC 入力電圧 } 28 \text{ V} \pm 10 \% \\ \text{DC 出力電圧 } 30 \text{ V} \\ \text{安定化出力電流 } 500 \text{ mA} \\ \text{(音声信号)} \end{array} \right.$
- b.  $\left\{ \begin{array}{l} \text{AC 入力電圧 } 24 \text{ V} \pm 10 \% \\ \text{DC 出力電圧 } 24 \text{ V} \\ \text{使用時間 連続} \\ \text{許容温度 } -20 \sim +50^\circ \text{C} \end{array} \right.$

外形寸法は 76×44×55mm、重量は 165g

### ●10W ユニット・パワー・アンプ “UPA-10”

“UPA-10” トランジスタ・ユニットアンプの出力回路用として設計された TPA-5 につぐ出力 10W のユニット・パワー・アンプで Hi Fi、ステレオ再生、PA 用など多用途に使用できる。回路はコンプリメンタリ・シンメトリ・SEPP の回路を採用し、最適負荷は 16Ω なので OTL として使用できる。主な規格は、入力回路: -5dB (9.43V) において出力 10W (負荷 16Ω)、歪率出力 10W において 1% 以内、SN 比は 80dB 以上 (出力 10W の時)、利得周波数偏差 20~20kc ±1dB 以内、電源電圧 -48V (40V 以上)、消費電流 無信号時 12mA、10W 出力時 370mA、温度範囲 -20~+50°C、外形寸法は 76×44×55。重量は 180g である



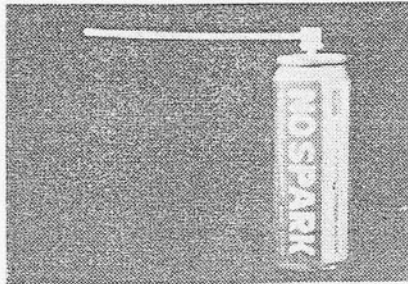
(東京都港区芝田村町 3 の 12)

不二音響テレビジョン K.K.

### ハヤト産業の“ノースパーク”

これは強力な電気絶縁性と防湿を有する最も新しい電気化学製品で、エアゾール式にスプレーするものである。電気回路の絶縁劣化または吸湿による漏電防止に、テレビ受像機高圧部スパークの防止に、あるいはシャーシ、パネルのサビ止め用として効果の高いものである。ノースパークの形成する皮膜の電気絶縁性は 180°C を越える高温でも、また水に浸漬してもほとんど劣化をみせず、特に高周波に対しては極めて強く、100 c/s~100 Mc の広い周波数範囲で

も一定の性能を保っている。エアゾール式であ



るから複雑なセットの中でも簡単に均一な塗布ができ乾燥時間は 10~20 分である。

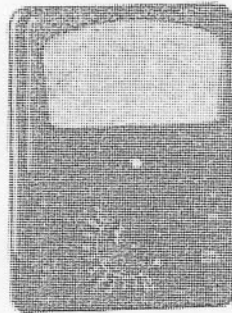
(東京都文京区真砂町36 Tel: 811-7391, 5532)

ハトヤ産業 K.K.

### 鴨下電子研の新製品 2 種

#### ●万能テスター “370-N”

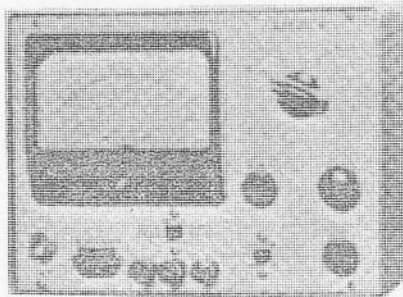
10mA の耐震メーターおよび 3 個のゲルマニウムダイオード採用の高感度万能テスターで 26 レンジをもっているから、あらゆる分野の専門家向けとして役に立つ。またヨーロッパの要望によって 100,000 Ω/V 級となっている。



#### ●トランジスター・チェッカー

##### HT-70, HT-80

HT-70 は 50μA メーター、切換スイッチおよび内蔵電池で構成される非常に簡単なもので、インピーダンス転換方式により電流通過時のトランジスター拡大率がメーター・スケール面で直読でき、トランジスターの良否が直ちに分かり、しかも AC 電源に干渉しないので、いかなる状態でも使用可能である。下の写真は HT-70 型である



HT-80 は大量のトランジスターの点検に最も適しており、本機内に発振装置を有し、常にスタンダードになるように考慮され、この振動回路の掃引方式でトランジスターの性能を直読できるように設計されたものである。

(東京都北多摩郡分寺町窓ヶ窪 1069

Tel: 0423-2-2020~3)

鴨下電子研究所

### パイオニアの FM 用アンプ

#### “FM-B101”

本機はモノラル・アンプで、ステレオ時代に逆行するのように見えるが、これは既存のモノラル装置に加えてステレオとできるよりにとの見地から作られたものである。FM 放送の周波数幅がまだ決定的になっていないため、受信範囲は 76~108Mc と広くとってあるので、現在放送中のものでは NHK、FM 東海のほか、テレビの第 1~3 チャンネルまで受信することができる。12 球+2 ダイオードの構成で、終段は 6BM8 PP となっており、出力は最大 10W、無歪 7W である。受信帯域は FM: 76~108Mc, MW: 535~1605 kc, SW: 3.8~12 Mc, 入力端子と出力 7W に要する入力 (1kc) は MAG 2.5mV, Xtal 25mV, AUX 150mV である。イコライザーは NF 型 (RI AA 特性)、トーンコントロールは CR 型、50c/s で ±16~-14dB, 10kc で ±14dB、ラウドネス・コントロールは ON-OFF 可能。出力端子はスピーカー用 (8, 16Ω) とテープ同時録音用の 2 つである。周波数特性は 20c/s~50kc (±1dB)、残留雑音は 0.3μV (トーン・コントロールはフラット、ボリュームは最小のとき)、電源は 100V, 117V 切換、消費電力は 85W である。外形寸法は幅 360×高さ 137×奥行 310 (mm) で、重量は 8.5kg である。

(東京都文京区音羽町 6 の 5 Tel: 941-3181)

パイオニア K.K.

### 新電元のシリコン・パワー・

#### トランジスター

同社が新しく開発したもので、NPN の三重拡散型シリコン・トランジスターである。これの最大定格および電気時特性は下記のとおりである。

保存温度	T <sub>stg</sub>	-60°~+150°C
接合部温度	T <sub>j</sub>	+50°C
エミッター電圧	V <sub>EB0</sub>	2V
コレクター電圧	V <sub>CB0</sub>	200V
エミッター・コレクター電圧	V <sub>CE0</sub>	200V
コレクター電圧	V <sub>CEO</sub>	20V 以上
ベース電流	I <sub>B</sub>	10A
コレクター電流	I <sub>C</sub>	30A
コレクター損失	P <sub>C</sub>	200W
(フレンジ温度 25°C)		
直流電流増幅率	h <sub>FE</sub>	10~150
飽和抵抗	R <sub>S</sub>	0.2Ω 以下
遮断周波数	F <sub>αe</sub>	100kc
	F <sub>αb</sub>	5Mc
熱抵抗	R <sub>Jc</sub>	0.8°C/W



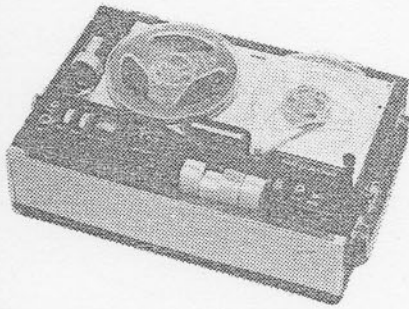
(東京都千代田区大手町 2 の 4 新大手町ビル)

新電元工業 K.K.



## 太陽電子のテープレコーダー “HF-77-D”

ポータブル型で、並5型リールを使って最大3時間の録音ができる。オール・トランジスターで、ダブル・トラック、交流バイアス式である。テープ・スピードは9.5cm/秒(50~13000c/s)と4.75cm/秒(50~7000c/s)である。電気的出力は無歪で1W、S/N比は40dB以上となっている。電源は単一×6で、交流100Vも使うことができる。



(東京都大田区下丸子 313 Tel: 731-2221)

太陽電子 K. K.

## クラウン・コーダー “CTR-550”

5個のトランジスターと1個のダイオードからなるテープレコーダーで、録音・再生のみならずレコード・プレーヤーとしても使えるようになっている。この場合は専用のピックアップとターンテーブルを取付ける。プレーヤーとしては45回転である。レコーダーとしてはダブル・トラック、DCバイアスで、リム・ドライブ方式であるが、ガバナーツキの特殊DCモーターを使って常に一定した回転数(45rpm)を得ている。消去もDC消去方式。周波数特性は200~5000c/sで、最大出力は200mW。2スピーカーは6.5cm、電源は単一×3の4.5Vである。ほかにテレホン・ピックアップも付属している。外形寸法は83×222×175mmで、重量は2kgである。



(東京都台東区東黒門町 3)

クラウン K. K.

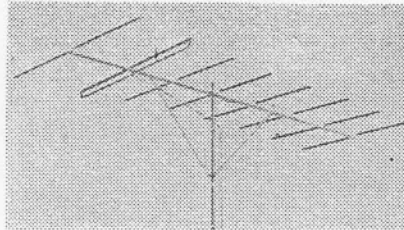
## マスプロの新製品2種

●FM用アンテナ “FM3, FM5, FM8”

FM放送をHi-Fiで受けるためにという

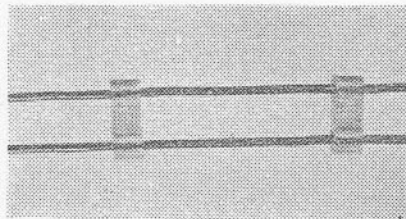
FM専用のアンテナが3機ある。FM3は3素子、FM5は5素子、FM8は8素子のもので、いずれもSWRを1.5以下にすることに成功したものである。写真はFM8である。

	利 得	半値幅
FM3	4.9~6.9dB	61°
FM5	6.4~9dB	47°
FM8	10.5~11.5dB	37°



## ●レッヘル線用セパレーター

別称はスパーサーである。塩害をふせぐために、塩害防止用フィーダーとか同軸ケーブルなどが使われているが、一部の地方ではレッヘル線方式を採用して効果をあげているところから、これを研究しはじめた。実験の結果は損失が非常に少なくなる。本スパーサーは1V 1.6ビニール電線を2本平行にしても300Ωのインピーダンスが保てるように設計しており、共同聴視用レッヘル線の施行もこれによってきわめて容易となる。



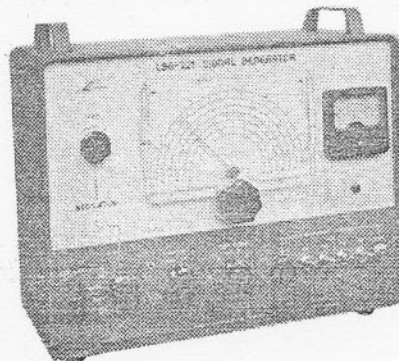
(名古屋市熱田区沢下町 82)

マスプロ電工 K. K.

## リーダーの新製品2種

●シグナル・ジェネレーター  
“LSG-221”

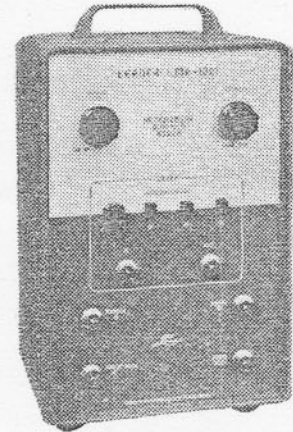
100kc~38Mc(6レンジ)までの高周波電圧および変調度を出力計によって読みとることの



できるシグナル・ジェネレーターで、その精度はサブ・スタンダードとして学校や研究所などの実験用としてはもちろん、セット、部品メーカーやサービスマンに最適といえる。出力電圧は100,000μV。出力インピーダンスは約50Ω、減衰器は10:1(4ステップ)、変調はCW, 400c/s, EXTの3ステップ切換である。変調度は50%まで。外形寸法は360×265×190mmで、重量は約8kgである。

## ●ヘテロダイン・マーカ・アダプター

これは同社のスイープ・ジェネレーターLSW-322や、マーカ・ジェネレーターLSG-302のアダプターとして設計されたものである。



本器のマーカ信号の挿入方法はスイープ信号に重畳させず、単独に挿入する方法になっているので特性上のマーカ信号、すなわちビップが増幅度の低い特性の種や、サウンドトラックの点においても、同一の大きさのビップとして観測できる。

入力インピーダンス	}	SWEEP Calib	端子	75Ω
		MARKER	端子	75Ω
		SIGNAL	端子	0.5MΩ
出力インピーダンス		SWEE OUT	端子	100Ω
入力電圧	}	SWEEP Calib	端子	5,000μV以上
		MARKER	端子	10,000μV以上
		SIGNAL	端子	MAX 8 P-PV
マーカ出力電圧		MAX	3V	
電源		AC 100V, 50/60 CPS		
使用真空管		12AD7-2, 12AU7		
付 属 品		75Ω 同軸ケーブル・2本		
		シールドケーブル・2本		
寸 法・重 量		180mm×265mm×125mm		約3kg

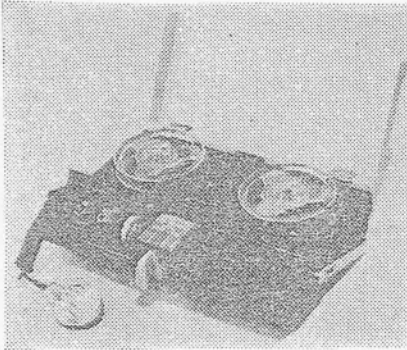
(横浜市港北区綱島町 850)

大松電気 K. K.

## NDSのジェムコーダー “ND-416”

取扱いがきわめて簡単で、しかも小型・軽量(250×150×63mm, 1.16kg)なものである。リム・ドライブ式の4石録音器、ダブル・トラ

ックで使用リールは3号で往復30分の録音が可能である。出力は50mW、内蔵スピーカーは7cm PDS。電波は単二が2個である。価格は国内が¥6500、輸出が\$7.50。



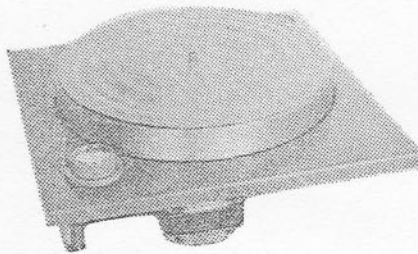
(東京都港区麻布新堀町11)

日本電子製造 K. K.

### KSの新製品2種

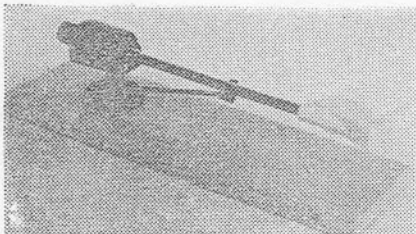
#### ●フォノモーター“L-522”

4極コイルのインダクション・モーターを使っている、精密にバランスをとっているため雑音や振動はほとんどなく、マグネットによる微調整もついている。直径25cm 重量0.8kgの軽合金鋳物製、モーターボードは鉄板プレスのものである。正価は¥8,800



#### ●ピックアップ“ST-210”

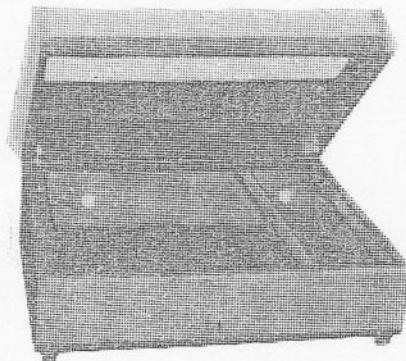
同社の300シリーズ、500シリーズに使っているピックアップ ST-210 を板にとりつけたもので、この出来次に紹介するケースの中に納められる。クリスタルPUで針圧調整も可能である。正価は¥3,100。



#### ●プレーヤー・ケース“C-10F”

幅450×高さ195×奥行353mmのプレーヤー・ケースで、中はモーター部とPU部に区切られている。正価は¥4,800。  
(名古屋市中区城東町7-112)

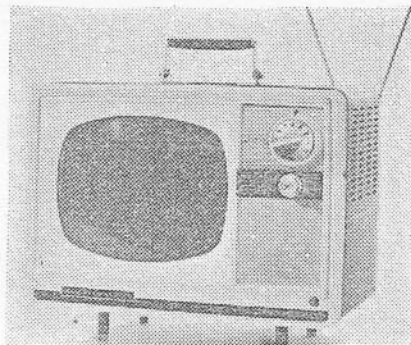
ケイエス商事 K. K.



### 東芝の新製品2種

#### ●10型ポータブル・テレビ“10PL”

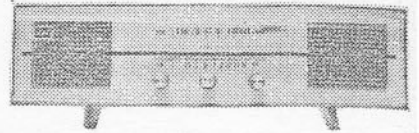
10型110°偏向のB管2500B4を使ったポータブル型で、ほかに15球+1タイオードを使っている。スピーカーは10cm円型で、音声出力は最大1Wである。消費電力は120W。外形寸法は幅390×高さ275×奥行247、脚45mmで、重量は10.5kgである



#### ●2バンド・ラジオ“かなりやX”

5球スーパーで、受信周波数は530~1605kc

と3.9~12Mcである。出力は最大1.5W。スピーカーは9cm丸型が2個となっている。レコード・プレーヤー端子、イヤホン・ジャックもついている



(東京都中央区銀座西5の2)

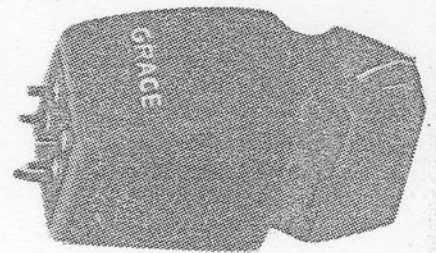
東芝商事 K. K.

### グレースのステレオ・

#### カートリッジ

#### “F-6AD. F-6AH”

ムービング・マグネット型のもので、F-6ADは標準の0.7ミル針(ダイヤモンド)、F-6AHは特にステレオに適した0.45ミル針つきとなっている。周波数範囲は30~18000c/s(+2.5dB) 出力電圧は約5mV、直流抵抗は約300Ω、インダクタンス約300mH、インピーダンス約2000Ω(以上3つはいずれも片チャンネル)となっている。負荷抵抗は30~100kΩ、クロストークは-25dB以下(1000c/s)、-18dB以下(1000c/s)、針圧は2~5gr、自重11grである。定価はF-6ADが¥5,000、F-6AHが¥5,600。



(東京都品川区大井元芝町870)

品川無線 K. K.

### ソニーの超小型 VTR

写真の右から2番目にあるのが、このVTR(ビデオ・テープレコーダー)である。外形寸法は幅482×高さ535×奥行379mmで、重量は約36kgという小型なもので、従来の放送用VTRに比べれば容積は約50分の1となっている。ヘッドは映像用と垂直同期信号用が別々になっており、ヘッド・アセンブリーが回転する。再生時には映像の動きをスローダウンしたりストップさせたりできる。

